



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月26日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カワチ薬品  
コード番号 2664 URL <https://www.cawachi.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河内 伸二  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 足助 弘 TEL 0285-32-1131  
定時株主総会開催予定日 2024年6月12日 配当支払開始予定日 2024年6月13日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月13日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年3月16日～2024年3月15日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	285,960	1.5	7,601	15.0	8,609	12.2	4,713	12.8
2023年3月期	281,871	—	6,611	—	7,672	—	4,177	—

(注) 包括利益 2024年3月期 4,732百万円 (12.8%) 2023年3月期 4,193百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	211.03	210.79	4.3	4.4	2.7
2023年3月期	187.06	186.85	3.9	4.0	2.3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首より適用しており、2023年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。このため対前期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	196,119	111,295	56.7	4,980.82
2023年3月期	194,496	107,725	55.3	4,818.93

(参考) 自己資本 2024年3月期 111,242百万円 2023年3月期 107,627百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	6,402	△5,291	△3,937	35,623
2023年3月期	9,817	△5,840	△4,485	38,450

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00	百万円 1,116	% 26.7	% 1.1
2024年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00	1,786	37.9	1.6
2025年3月期 (予想)	—	0.00	—	80.00	80.00		31.3	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年3月16日～2025年3月15日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	149,000	2.1	4,500	2.5	5,000	1.7	3,200	5.0	143.28
通期	292,000	2.1	8,000	5.2	9,000	4.5	5,700	20.9	255.21

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	24,583,420株	2023年3月期	24,583,420株
2024年3月期	2,249,173株	2023年3月期	2,249,122株
2024年3月期	22,334,273株	2023年3月期	22,334,298株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(連結損益計算書関係) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### (当連結会計年度の概況)

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類移行により、社会経済活動の正常化が進むにつれ、緩やかに持ち直しの動きが見られた一方、資源価格や為替の動向及び、地政学リスクの影響等から、先行き不透明なまま推移いたしました。

個人消費につきましては、外出機会の増加により、緩やかに回復基調となったものの、物価上昇による生活費の負担は増しており、実質賃金は減少が続いていること等から、節約志向は一段と高まりをみせております。

当社グループが属するドラッグストア業界におきましては、国内外における人流の増加からインバウンド需要等による回復が見られた他、外出機会の増加等から美容に関する商材等の回復は見られたものの、前年にあった抗原検査キットやマスク等の需要増による反動減や、商品の値上げによる駆け込み需要の反動減等があったことに加え、競合各社の出店攻勢や、各種商品の値上げに伴う他業態との戦いが続いていること等から、引き続き厳しい環境が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、新規出店及び専門性強化策としての調剤併設を進めるとともに、段階的な値上げが相次ぐ中、相対的優位性を保つべく物流を活かした一括仕入れ等を行い、販売価格の見直しと対応及び販売促進に努めてまいりました。一方、新物流センター稼働に伴い、作業効率向上に取り組むことで人件費の抑制に努めた他、暖冬による電力使用量の減少に加え激変緩和措置の延長等もあり、水道光熱費が抑制されたこと等から販管費は計画を下回りました。

新規出店につきましては、既存地区である、茨城県に3店舗、岩手県、千葉県に各2店舗、宮城県、山形県、福島県、栃木県、群馬県、山梨県に各1店舗、計13店舗を出店いたしました。調剤薬局につきましては、千葉県の新店に2件、山形県、茨城県、群馬県の新店に各1件、茨城県の既存店に2件、山形県、群馬県の既存店に各1件、計9件を併設いたしました。なお、千葉県の1店舗（調剤併設型）及び新潟県の1店舗の計2店舗をリロケーションのため退店し、調剤薬局を2件閉局いたしました。

これにより当社グループの店舗数は、計375店舗（内、調剤併設151店舗）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,859億60百万円（前期比1.5%増）、営業利益は76億1百万円（前期比15.0%増）、経常利益は86億9百万円（前期比12.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は47億13百万円（前期比12.8%増）となりました。

#### (販売の状況)

部門別の当社グループの売上高は以下のとおりであります。

区分	前連結会計年度 (自 2022年3月16日 至 2023年3月15日)		当連結会計年度 (自 2023年3月16日 至 2024年3月15日)		前連結会計 年度比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
医薬品	52,780	18.8	52,262	18.4	99.0
化粧品	21,421	7.6	22,573	7.9	105.4
雑貨	77,581	27.6	78,724	27.6	101.5
一般食品	129,164	46.0	131,452	46.1	101.8
合計	280,948	100.0	285,013	100.0	101.4

- (注) 1 当社の取扱商品は多品種にわたり、売上数量についての記載は困難なため、記載を省略しております。  
2 上記金額には、不動産賃貸収入は含まれておりません。

(次期の見通し)

次期におけるわが国経済は、株高・物価高に加え、人流増やインバウンド需要の回復等を背景に、経済活動は緩やかに回復することが予想される一方、地政学リスクの高まりや為替の影響等により、緩やかに物価上昇が続くことが予想される等、先行き不透明な状況は続くものと予想されます。消費環境におきましては、物価や生活費等の上昇が相次ぎ、経済状況や将来の不安等もあり、生活防衛意識は一層高まりを見せ節約志向は続く等、厳しい環境が続くものと予想されます。

このような中、当社グループといたしましては、変化の激しい経営環境に対応するべく、一層の経営基盤強化を図るため、新物流体制による生産性向上策を進めるとともに、全体効率化を目的としたDX推進策に基づくシステム化・機械化を進めてまいります。また、光熱費増に対応するべく引き続き節電設備の導入を進める等、その抑制に努めてまいります。

次に、競争激化に対する差別化策として、新規店舗への調剤薬局併設を進めるとともに、ヘルス&ビューティーケア強化策として健康意識の高まりに対応した品揃えの強化を図りながら、予防及び美容を含めた健康の維持・増進、健康寿命延伸に向け、資格者による相談機能の強化を図り、専門性強化策を推進してまいります。さらに、生活防衛意識の高まる消費環境に対応するべく「安心・安全」に配慮された商品を、安心価格で提供することに注力し、地域のインフラとしての機能を備えた地域に一層密着した店舗づくりを進め、お客様の生活の質の向上及び満足度向上に尽力してまいります。

出退店につきましては、主に既存エリアへの出店を13店舗、退店を2店舗計画しております。また、専門性強化策を推進するため、調剤薬局を新規及び既存店舗に7件併設する予定であります。

以上のことから、2025年3月期の連結業績は、売上高2,920億円、営業利益80億円、経常利益90億円、親会社株主に帰属する当期純利益57億円を見込んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産の部は、前連結会計年度と比して16億23百万円増加し、1,961億19百万円となりました。これは主に現金及び預金が減少したものの、売掛金及び商品が増加したことによるものであります。

当連結会計年度末の負債の部は、前連結会計年度と比して19億46百万円減少し、848億24百万円となりました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度と比して35億69百万円増加し、1,112億95百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

自己資本比率は、56.7%（前期比1.4ポイント増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、356億23百万円（前連結会計年度末比28億26百万円減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、64億2百万円（前期比34億14百万円減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が71億53百万円（同5億81百万円増）、減価償却費が43億6百万円（同43百万円減）あったものの、売上債権の増加が38億51百万円（同30億98百万円収入減）あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、52億91百万円（同5億49百万円支出減）となりました。これは主に、新規出店に係る有形固定資産の取得に48億35百万円（同4億16百万円支出減）を支出したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、39億37百万円（同5億48百万円支出減）となりました。これは主に長期借入れによる収入が57億20百万円（同7億80百万円収入減）あったものの、長期借入金の返済による支出が85億40百万円（同13億29百万円支出減）、配当金の支払額が11億16百万円（同0円支出増）あったことによるものであります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	50.3	51.9	54.5	55.3	56.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	20.9	33.6	27.5	25.3	30.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.4	1.7	3.3	2.0	2.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	178.8	246.8	138.0	235.1	181.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは株主への利益還元を最重要経営課題として位置づけるとともに、将来の事業展開を勘案し、経営基盤の充実・強化による安定した成長を確保するために必要な内部留保を図りながら、累進配当を継続して行うことを基本方針としております。

当連結会計年度におきましては、2024年6月12日開催予定の第57回定時株主総会において、1株につき30円増配し、普通配当80円とすることを付議する予定であります。

また、次期の配当におきましても、1株につき普通配当80円を予定しております。

なお、内部留保資金につきましては、店舗の新設、改装及びシステム投資等の資金として充当する方針であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月15日)	当連結会計年度 (2024年3月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,450	35,623
売掛金	6,604	10,456
商品	32,961	34,699
貯蔵品	32	30
その他	5,474	5,209
流動資産合計	83,523	86,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	114,911	117,360
減価償却累計額	△74,785	△77,208
建物及び構築物(純額)	40,126	40,152
土地	49,292	49,170
建設仮勘定	791	178
その他	25,016	25,452
減価償却累計額	△21,839	△22,418
その他(純額)	3,177	3,034
有形固定資産合計	93,388	92,535
無形固定資産		
その他	5,243	5,387
無形固定資産合計	5,243	5,387
投資その他の資産		
投資有価証券	101	129
敷金及び保証金	7,633	7,474
繰延税金資産	4,285	4,275
その他	321	298
投資その他の資産合計	12,342	12,177
固定資産合計	110,973	110,100
資産合計	194,496	196,119

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月15日)	当連結会計年度 (2024年3月15日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,923	42,011
1年内返済予定の長期借入金	7,909	6,706
未払法人税等	1,424	1,400
賞与引当金	1,204	1,351
契約負債	2,046	2,096
その他	7,927	8,109
流動負債合計	62,435	61,675
固定負債		
長期借入金	11,640	10,023
退職給付に係る負債	8,693	8,959
資産除去債務	3,078	3,243
その他	922	922
固定負債合計	24,335	23,148
負債合計	86,771	84,824
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,001	13,001
資本剰余金	14,902	14,902
利益剰余金	84,070	87,666
自己株式	△4,362	△4,363
株主資本合計	107,612	111,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	34
その他の包括利益累計額合計	15	34
新株予約権	98	52
純資産合計	107,725	111,295
負債純資産合計	194,496	196,119

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月16日 至 2023年3月15日)	当連結会計年度 (自 2023年3月16日 至 2024年3月15日)
売上高	281,871	285,960
売上原価	217,824	220,158
売上総利益	64,047	65,801
販売費及び一般管理費	57,435	58,200
営業利益	6,611	7,601
営業外収益		
受取利息	21	19
受取配当金	2	3
受取手数料	824	799
太陽光売電収入	186	176
その他	407	461
営業外収益合計	1,442	1,460
営業外費用		
支払利息	41	35
支払手数料	142	136
減価償却費	59	56
固定資産圧縮損	—	59
その他	137	164
営業外費用合計	381	452
経常利益	7,672	8,609
特別利益		
固定資産売却益	10	0
受取保険金	137	73
新株予約権戻入益	—	45
その他	—	25
特別利益合計	148	145
特別損失		
固定資産売却損	9	48
固定資産除却損	64	27
減損損失	※ 911	※ 1,117
店舗閉鎖損失	29	303
その他	235	104
特別損失合計	1,248	1,601
税金等調整前当期純利益	6,572	7,153
法人税、住民税及び事業税	2,604	2,437
法人税等調整額	△209	2
法人税等合計	2,394	2,440
当期純利益	4,177	4,713
親会社株主に帰属する当期純利益	4,177	4,713

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月16日 至 2023年3月15日)	当連結会計年度 (自 2023年3月16日 至 2024年3月15日)
当期純利益	4,177	4,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	19
その他の包括利益合計	15	19
包括利益	4,193	4,732
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,193	4,732

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年3月16日 至 2023年3月15日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	13,001	14,901	81,008	△4,387	104,524
当期変動額					
剰余金の配当			△1,116		△1,116
自己株式の処分		1		24	26
親会社株主に帰属する当期純利益			4,177		4,177
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	3,061	24	3,088
当期末残高	13,001	14,902	84,070	△4,362	107,612

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△0	△0	126	104,649
当期変動額				
剰余金の配当				△1,116
自己株式の処分				26
親会社株主に帰属する当期純利益				4,177
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	15	15	△28	△12
当期変動額合計	15	15	△28	3,075
当期末残高	15	15	98	107,725

当連結会計年度(自 2023年3月16日 至 2024年3月15日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	13,001	14,902	84,070	△4,362	107,612
当期変動額					
剰余金の配当			△1,116		△1,116
自己株式の取得				△0	△0
親会社株主に帰属する当期純利益			4,713		4,713
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,596	△0	3,596
当期末残高	13,001	14,902	87,666	△4,363	111,208

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	15	15	98	107,725
当期変動額				
剰余金の配当				△1,116
自己株式の取得				△0
親会社株主に帰属する当期純利益				4,713
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	19	19	△45	△26
当期変動額合計	19	19	△45	3,569
当期末残高	34	34	52	111,295

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月16日 至 2023年3月15日)	当連結会計年度 (自 2023年3月16日 至 2024年3月15日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	6,572	7,153
減価償却費	4,350	4,306
減損損失	911	1,117
店舗閉鎖損失	—	303
固定資産除却損	9	17
賞与引当金の増減額(△は減少)	16	147
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	476	265
受取利息及び受取配当金	△24	△23
支払利息	41	35
固定資産売却損益(△は益)	2	48
契約負債の増減額(△は減少)	169	49
売上債権の増減額(△は増加)	△753	△3,851
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,560	△1,735
仕入債務の増減額(△は減少)	1,297	88
その他	1,019	1,256
小計	12,527	9,178
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△42	△34
法人税等の支払額	△2,671	△2,744
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>9,817</b>	<b>6,402</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,252	△4,835
有形固定資産の売却による収入	50	94
無形固定資産の取得による支出	△455	△544
長期前払費用の取得による支出	△55	△46
敷金及び保証金の差入による支出	△244	△168
敷金及び保証金の回収による収入	112	209
その他	4	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△5,840</b>	<b>△5,291</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	6,500	5,720
長期借入金の返済による支出	△9,869	△8,540
自己株式の取得による支出	—	△0
自己株式の処分による収入	0	—
配当金の支払額	△1,116	△1,116
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,485</b>	<b>△3,937</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△509	△2,826
現金及び現金同等物の期首残高	38,959	38,450
現金及び現金同等物の期末残高	38,450	35,623

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

※ 減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

前連結会計年度(自 2022年3月16日 至 2023年3月15日)

用途	場所	種類	金額
		土地	519百万円
営業店舗	東北、関東地方	建物及び構築物	369百万円
		その他	21百万円
		計	911百万円

当社グループは各店舗単位を資産グループとして減損会計を適用しております。減損は収益回復が見込めない店舗等について、各資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(9億11百万円)として特別損失に計上しております。

その内訳は土地5億19百万円、建物及び構築物3億69百万円、その他21百万円であります。

なお、回収可能価額については、正味売却価額等により算定しております。正味売却価額は路線価等を勘案した合理的な見積額を使用しております。

当連結会計年度(自 2023年3月16日 至 2024年3月15日)

用途	場所	種類	金額
		土地	92百万円
営業店舗	関東、甲信越・東海地方他	建物及び構築物	947百万円
		その他	77百万円
		計	1,117百万円

当社グループは各店舗単位を資産グループとして減損会計を適用しております。減損は収益回復が見込めない店舗等について、各資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(11億17百万円)として特別損失に計上しております。

その内訳は土地92百万円、建物及び構築物9億47百万円、その他77百万円であります。

なお、回収可能価額については、正味売却価額等により算定しております。正味売却価額は路線価等を勘案した合理的な見積額を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨及び一般食品等の販売をする小売業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年3月16日 至 2023年3月15日)	当連結会計年度 (自 2023年3月16日 至 2024年3月15日)
1株当たり純資産額	4,818円93銭	4,980円82銭
1株当たり当期純利益	187円06銭	211円03銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	186円85銭	210円79銭

(注) 1 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2022年3月16日 至 2023年3月15日)	当連結会計年度 (自 2023年3月16日 至 2024年3月15日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,177	4,713
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,177	4,713
期中平均株式数(株)	22,334,298	22,334,273
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	25,222	25,188
(うち新株予約権(株))	(25,222)	(25,188)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	2018年5月16日取締役会決議第8回新株予約権(新株予約権の数1,530個)	2018年5月16日取締役会決議第8回新株予約権(新株予約権の数1,530個)については、2023年5月31日をもって権利行使期間満了により失効しております。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (2023年3月15日)	当連結会計年度 (2024年3月15日)
純資産の合計額(百万円)	107,725	111,295
純資産の合計額から控除する金額(百万円)	98	52
(うち新株予約権(百万円))	(98)	(52)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	107,627	111,242
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	22,334,298	22,334,247

(重要な後発事象)

該当事項はありません。